

西浦校区コミュニティ協議会だより

電話：73-8641 ファックス：73-8648

平成 28 年 1 月 1 5 日 第 1 6 号

西浦の名所 掛橋坂

全長 6 6 1 m
始良市蒲生町北 字掛橋

西浦下に掛橋坂という石を敷き詰めた石段・石畳の道があります。中世の頃は道幅が狭く危険な板敷きの道である棧（かけはし）であったと考えられ、地名の由来になったようです。（右図参照）

江戸時代には、藺牟田・祁答院方面と蒲生を結ぶ地方街道として利用され、帖佐郷鍋倉にあった納屋町御蔵まで、毎年貢米が輸送されました。掛橋坂は道中最も厳しい難所として知られ、地山の石を削った石段や切り石を敷き詰めた石畳が 1 8 世紀末、寛政 8 年（1 7 9 6 年）までには完成したようです。

明治 3 0 年代以降は馬車輸送のため、急勾配の掛橋坂を避け、迂回路をとった県道（現川内加治木線）が整備されると、掛橋坂の記憶は、次第に人々から忘れ去られました。

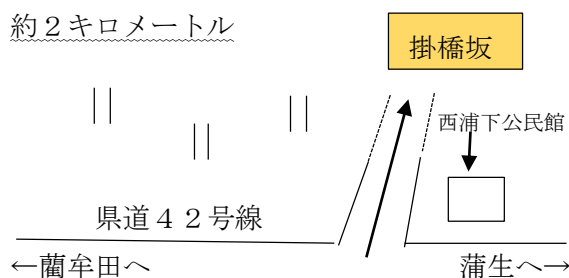
しかしながら、掛橋坂は幹線道路の役割は終わりましたが、戦後も西浦・北両地区の人々の生活道路として今日まで大切に保存されてきました。【始良市教育委員会 歴史の道 掛橋坂より】

整備が行われ、駐車場も完備されています。散歩がてら出掛けてみませんか。

棧とは木を渡して作る道のこと（和漢三才図会）



西浦下公民館から
約 2 キロメートル



大山祇神社

